

第 16 回 JAL 杯北海道ミックスダブルス
カーリング選手権大会
札幌地区予選

チームミーティング資料
(審判長事前通知)

2022年10月21日(金)～10月23日(日)

札幌市

どうぎんカーリングスタジアム

はじめに

この文章は、大会の競技に関する事項をまとめたものであり、大会の開始に先立って、出場する各チームに大会事務局を通じて配布されます。

したがって、出場するチームの選手はもとよりコーチも、この文章を事前に読んで理解をし、大会当日に持参して下さい。本大会は JCA 競技規則 2020.11 版（鶯色版）を適用します。

なお、特に必要があると認めたときは、大会中に追加通知を行う場合がありますので留意願います。

コロナウイルス感染症拡大予防の関係からチームミーティングと開会式は行いませんので、競技規則及び本事前通知事項を熟知されるよう、ご理解をお願いいたします。

また、公益社団法人 日本カーリング協会からだされております「大会開催における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」（令和 3 年 8 月 23 日）により予防対策を十分に実施した中での開催となります。

令和 4 年 10 月

大会審判長 小中淳一

カーリング精神

カーリングは技術と伝統のゲームです。技を尽くして決められたショットは見る喜びです。また、ゲームの神髄に通じるカーリングの古くからの伝統を見守るのはすばらしいことです。カーラーは勝つためにプレーしますが、決して相手を見くんだりしません。真のカーラーは相手の気を散らしたり、相手がベストを尽くそうとするのを決して妨げたりしません。不当に勝つのであればむしろ負けを選びます。

カーラーは、ゲームの規則を破ったり、その伝統を決して軽視したりしません。不注意にもこれが行われていると気がついた場合、その違反を真っ先に申し出ます。

カーリングの主な目的が、プレーヤーの技術の粋を競うことである一方、ゲームの精神は立派なスポーツマンシップ、思いやりの気持ち、そして尊敬すべき行為を求めています。

この精神は、アイスに乗っているいないに関わらず、ゲームの規則の解釈や適用に生かされるだけでなく、全ての参加者の振舞いにも生かされるべきものです。

1. 大会日程等

本大会は第16回道央ブロックミックスダブルスカーリング選手権大会（札幌：12月17日（土）～18日（日））に出場する12チームを選抜する大会である。本大会の日程については、既に示されている「タイムスケジュール」のとおり。日時・使用するシートに変更等ある場合、本部前の掲示板に明示する。

2. ラインナップカード及び選手登録

選手登録の変更は、受付時にラインアップカードを提出すること。ラインアップカードを提出した後の変更は認めません。また、補欠選手の登録はできません。

3. 競技方法

第16回 JAL 杯北海道ミックスダブルスカーリング選手権大会札幌地区予選は以下の競技方式によって行う。

- (1) 予選は、シード1チームを除いた40チームを1ブロック4チームに区分し（10ブロック：A～J）リーグ戦方式とする。

予選リーグにおいては最終エンドで同点の場合は、引き分けとしエキストラエンドは行わない。

予選リーグのポイントは勝ち3点、引き分け1点、負け0点 である。

- (2) 代表決定戦は、シード1チームと予選を勝ち抜いた15チームの合計16チームによる代表決定戦1をトーナメント方式で行い、これに勝利した8チームを第1代表とする。次に、代表決定戦1で負けた8チームによるトーナメント戦を行い、これに勝利した4チームを第2代表とする。

4. 順位決定方法

(1) 予選

予選リーグが終了した時点で、ポイントにより序列を決定する。（各ブロックでの順位は考慮しない）ポイントが同数となった場合は、LSD（予選3戦分：6投）の記録により序列を決める。同数の場合、個々のLSDを比較し、少ない値を持つチームを上位とする。個々の値が同数の場合はトスにより勝ったチームを上位とする。

全体の序列はポイント数の多いチームから順に決定していき、序列1から15までの15チームが代表決定戦に進む。

(2) 代表決定

代表決定戦1で勝利したチームの序列は、試合前のLSDの記録により代表1位から代表8位と順位を決定する。（道央ブロックのチーム抽選の振り分けに使用）同数の場合は、個々のLSDを比較し、少ない値を持つチームを上位とする。個々の値が同数の場合、トスにより勝ったチームを上位とする。代表決定戦2で勝利したチームの序列は代表決定戦1及び2のLSDの合計値により代表9位から第12位とする。同数の場合は個々のJSDを比較し、少ない値を持つチームを上位とする。個々の値が同数の場合、トスにより勝ったチームを上位とする。負けたチームは同様に13位から16位まで決定させ、予備代表チームとする。

5. ストーンの割り当てと配置

- (1) 予選は、タイムスケジュールで示した左記に示した★印のチームが赤色ストーンを使用し、先練習を行う。なお、第1試合だけはトスにより、ストーンの色か先・後練習を選択する。
- (2) 代表決定戦は、序列上位が先練か後練又は石の色を選択することができる。
- (3) ハウス前に置くストーン（A）の位置については、試合開始前に、本部前の掲示板上に明示する。
- (4) 使用する6個のストーンは大会事務局が試合前に選定します。（不可2個に印）

6. 試合前練習及びLSD

予選及び代表決定戦の開始前に、各チームにはゲームストーンのみを使った練習が許可される。予選は3分間、代表決定戦は5分間を与える。練習に関する指示は審判長が行う。

練習開始はタイムスケジュールに示されている開始時間である。赤色のストーンのチームが行い、終わり次第黄色のストーンのチームの練習が開始される。それぞれのチームは練習終了後に直ちにLSDを行うこと。

ラストストーンドロ（LSD）（競技規則C8（b）、（c）、（d））

異なるプレーヤーが時計回りと反時計回りの回転で投球して下さい。最低投球回数は予選では（時計回り1投、反時計回り1投を投球して最低投球回数が1回となります。）ハウスに入らなかったLSDの記録は、185.4cmとする。（2点計測は行わない）

また、最低投球回数違反の記録も同様である。

7. 試合の長さ

予選リーグは4エンド、代表決定戦は6エンドで行う。代表決定戦において、最終エンド終了時点で同点の場合は、直ちにサドンデスのエキストラエンドを行い勝敗を決定して下さい。

8. 計時

試合は予選・代表決定戦ともにランニングタイムで行い、試合時間は予選ラウンドは48分とする。終了前8分コールを行うのでそれ以降は新しいエンドには入れません。代表決定戦は72分である。全ての試合でデットタイム（通常90秒）は設けない。エンドが終了したら出来るだけ早くストーンを配置し、エンドを進めること。

9. プレー中のユニフォーム

なるべく統一したユニフォームが望ましいが、今年限りユニフォームは、統一されなくても認める。

背文字は必ず入れること。地域名、チーム名、団体名、姓または名のうち1つ以上で統一すること。上着を脱ぐ場合も同様とする。

10. チームタイムアウト、テクニカルタイムアウト

チームタイムアウト・テクニカルタイムアウトは、ありません。

11. プレーエリアに入る際の靴

選手・コーチ・チーム関係者がプレーエリアで履く靴はきれいでなければならない。そうでない場合、プレーエリアに入ることは許可されない。

12. アイスへのダメージ

選手は用具、手、体でアイス表面にダメージを与えてはいけない。アイスへのダメージに関しては以下の方針で対処を行なう。

- (1) アイスを傷める可能性のある深刻な動作・行動が審判によって見掛けられた場合、または相手チームから判断を求められた場合、審判は確認を行なう
- (2) 審判はその動作・行動が「偶然起こった」あるいは「避けることができた」ものだったかどうかを決定する。
- (3) もしその動作・行動が避けることのできるものだった場合(例: ストーンをデリバリーしてから長い時間手やひざをアイスの上に置いた・スweepの指示を出す際に、ハウス内の氷の上に手を置いた)、アイスメーカーの補助を得てダメージがあるかどうか判定する

13. 計測【JCA 競技規則 R11(d)】

セルフジャッジを基本とするが、必要とする場合は、審判に合図してください。

14. 選手の位置

競技規則 R4 に依りますが、出来るだけ隣のシートの選手と密接を避けるような位置となるように努めて下さい。

15. ホッグライン違反

今大会ではホッグラインセンサーを使用しません。ホッグライン審判員も配置しません。ホッグライン違反が疑われる時は審判員に申し出ること。

16. 得点

そのエンドの得点が合意されたら、ハウスを任されているプレーヤーは速やかに得点版に得点をいれること。

試合が終了した時点で、チームのスキップはスコアカードにサインをしなければならないが、その際にその試合の得点合計等、記載されている事項に間違いがないか確認してサインすること。

17. 携帯電話

競技領域に入る前に携帯電話の着信音は切っておくこと。

18. 静止画および動画撮影に関する同意

エントリー時点で肖像権等、個人の権利主張は行わないことを承諾したものとみなします。

19. 用具

使用出来るブラシヘッドはWCF Current Approved Product Codesによる。

20. COVID-19（感染症対策）

新型コロナウイルス感染症の感染者数が急激に減少しておりますが、収束した分けではありません。むしろ第8波への懸念が拭えないと言われております。

競技中におけるマスク（サージカルマスク、不織布マスク）の着用は選手の判断によりますが、対戦チームやペア選手と協議し対応願います。但し、着用する場合にあっても呼吸を整えることは重要ですので他の選手が居ないことを確認しながらマスクを外して呼吸を整えることも必要です。

また、競技中を除き、館内では必ずマスク等を着用して下さい。

使用したストーンの消毒並びに勝利チームはシートの清掃を行うこと。

21. その他「注意事項」

- (1) JCA 競技規則と審判長通知事項の解釈に違いが有る時は JCA 競技規則を優先する。
- (2) 審判長通知事項および競技規則に記載されていない事柄が発生した場合は、その都度審判長が対応する。
- (3) プログラムに記載されている開始時刻は、試合前練習を開始する時刻である。記載時間は、あくまでも予定時間である。試合経過により変更になる場合や、試合が行われるシートが変更となる場合もありますのでご了承願います。
- (4) 試合が続行されている場合であっても、試合が終了したシートから製氷作業を行う場合があるのでご了承願います。
- (5) 本大会の運営は最小人員で行っているため、LSD の記録は相手チームがスコアシートに名前と回転を必ず確認して記録すること。
- (6) 本大会のチームミーティングは行わない。また、受付時間も試合ごとに区分したので、別紙タイムスケジュールを確認し臨むこと。
- (7) 本大会では出場数が41チームとなり、予選総試合数は60試合となる。このことから試合時間の管理が厳しいことが想定され、競技規則 C6-（m）を準用し「試合を遅らせていると審判が判断したときは、その旨を告げ、45秒経過してもホッグラインに到達していない場合は、そのストーンは直ちに外す」を適用する。
遅らせているとの判断は1エンド当たりの使用時間は置き石を含め12分である。このことから、審判は時間の使い方などを監視、或いは相手チームからのアピール等を参考として通告する。
相手チームのことも考慮し、適正なシンキング時間を心がけること。また、開始・終了にあっても早めの対応を指示する場合があるので了承下さい。
- (8) 選手控え場所は1スパン当たり3チーム分（最大6人/3チーム分）確保している。チーム毎に場所は指定するが、出来るだけ試合が終了したら退館するようにご協力をお願いします。また、館内での食事は厳禁です。
- (9) 健康管理表・行動記録は受付時にチーム毎にまとめて提出すること。（提出が無い場合は受付していないことと解釈し、試合には出場出来ません）

- (10) アイスメイク（ペブリング）は2試合毎に行う。
- (11) 受付時間については、エントランスの混雑を防ぐため、試合開始時刻毎に決めています。
別紙のタイムスケジュールに記載されている時間を厳守してください。